

【戦略1】多様な人材が活躍できる農業経営の実現

新規就農者の更なる確保・育成や地域農業を牽引するトップランナー・スーパートップランナーの育成、多様な人材が総活躍できる農業経営の実現を目指していく。

(1)-① 新たな担い手育成確保支援プロジェクト

【目標指標】

目標指標	現状値	H29目標値	H32目標値
新規就農者数(4年間累計)	1,095人 (H24~27)	340人 (単年度)	1,400人

【29年度の主な取組み】

- 新規就農者の確保・育成対策
 - ・動機付けから就農準備、就農、定着まで各段階に応じたきめ細かな支援
 (動機付け) 首都圏就農相談会(7・2月)、農業短期体験(5月~)など
 (就農準備) 農業研修、独立就農・雇用就農研修費助成 など
 (就農初期) 就農直後の経営確立のための助成、農業用機械等導入支援、農業技術普及課による技術指導 など
 - ※就農後の定着率向上のための取組み(重点)
 - ・新規就農者の仲間づくりを目的とした交流会の充実(2か所→4か所)
 - ・雇用就農希望者が参加しやすい県内就農相談会の開催
 (時期:7月、地域:村山・庄内)
- 農地と技術の一体的継承の推進
 - ・農業者と市町村・JA等からなる農業研修生受入協議会等が行う「離農を検討している熟練農業者から新規就農者へ農地と技術を一体的かつ円滑に継承するモデル的な取組み」に対する支援
 (事業主体) 農業研修生受入協議会等(8か所)
 (補助対象) 新規就農者への農地と技術の一体的継承のための取組みに要する経費
 (補助対象期間) 3年間
 (スケジュール)

H29	H30	H31	H32~
離農者等の状況把握 農地の確保(借受け) 農業用機械の導入 離農希望者の確保 短期農業研修(園地)	研修 (農地の出し手 農家等による 技術指導)	研修 (農地の出し手 農家等による 技術指導)	新規就農者の 独立

(2)-① 農業トップランナー育成・発展プロジェクト

【目標指標】

目標指標	現状値	H29目標値	H32目標値
トップランナー数	957経営体(H27)	—	2,000経営体
スーパートップランナー数	128経営体(H27)	—	260経営体

【29年度の主な取組み】

- トップランナーの育成支援
 - ・農業者の経営発展や法人化支援のための推進体制の整備と意欲的な農業者を対象とした研修会や専門家アドバイザー派遣によるビジネスプラン策定等の支援
 (山形県農業経営発展支援協議会の設立(6月)、各総合支庁における農業経営支援チームの設置(4月))
 - ・専門家の助言によるビジネスプラン策定と一体となったオーダーメイド型助成(30件)による経営発展支援
 (ビジネスプラン策定のための専門家アドバイザー派遣(5月~))
 - ※山形県農業経営発展支援協議会
 法人化支援も含めたトップランナー育成のための推進方策検討・検証
 具体の支援は、総合支庁・市町村・JA等で組織する農業経営支援チームが実施
- スーパートップランナーの育成支援
 - ・経営力の高いスーパートップランナー育成に向けた「やまがた農業経営塾」の創設(平成29年7月~平成30年2月、年間70時間、内容:経営管理・現地研修・商談実践・事業計画策定等)
 - ・スーパートップランナーを目指す
 トップランナーを対象としたオーダーメイド型助成(3件)による経営発展支援

